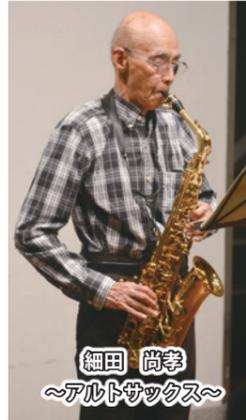




利根三曲会

横倉 正枝 他4名〜吟詠〜
二胡 中川 純子・尺八 吉川 芳山

利根混声合唱団〜混声合唱〜



細田 尚孝
〜アルトサクソ〜



小針 美夏〜声楽〜
ピアノ伴奏 小針 愛



石山 喜和子〜声楽〜
ピアノ伴奏 澤田 美穂



川端 道信
〜ハモニカ〜



petitbabe〜ピアノ連弾〜



シェハン〜ボーカルパーカッション〜
ピアノ伴奏 ラリス



呉 華演〜ヴァイオリン〜
ピアノ伴奏 河合 綾子



ピアノ伴奏 山本 光



伊藤 美由紀・大越 裕美
〜ピアノ連弾〜



飯泉 琴都〜声楽〜
ピアノ伴奏 飯泉祐美子



山本 愛理〜ヴァイオリン〜
ピアノ伴奏 平野 義子



女声コーラス たんぽぽ
〜女声コーラス〜



河合 綾子〜ピアノ〜

素敵な演奏を披露した出演者をご紹介！

敬称略

コンサートを終えて……



男性団員募集中!

▲利根混声合唱団の方々

スプリングコンサートを見て…
「今回が初ステージだったのよ〜。」と語るのは、今年入団したという平賀さん。入団したきっかけを聞くと、「利根町には長く住んでいるんだけど、文化的な行事がとても盛んで、興味があったの。それで3月のスプリングコンサートを見に来て、雰囲気も良かったから入団しました。」との事。ステージ終了後、感想を聞くと「このホールは響きが良くて歌いやすかった。のびのびと歌えたいし、何より客席が近かったから気持ちよく歌えた。」と話していました。

今年は聞き慣れた曲を聞いてほしい…
今年もコンサートのトリとして出演した6年目の山本愛理さん。「今年は、みなさんが知っている曲のほうが、みなさんも聞きやすいかなと思って選曲しました。」と語り、「白鳥」や「情熱大陸」などアンコール含め3曲を演奏しました。
また、昨年に引き続き、日本ウェルネス大学の留学生シェハンさんとラリスさん（今年初出演）が出演し、「川の流れのように」を含む3曲を熱唱、演奏しました。初出演のラリスさんは「参加できたことを非常に嬉しく思っています。」と笑顔で語ってくれました。



▲コンサート終了後、記念撮影！シェハンさん（左）、山本さん（中央）、ラリスさん（右）



音のまちTONE 町の話題 PHOTO NEWS その2

音のまちTONE ふれあいコンサート

6月2日（土）
利根町役場 1階 多目的ホール
主催 音のまちTONE 推進委員会



今年で20回目!!
毎年大盛況のコンサート
6月2日（土）に役場1階の多目的ホールにおいて「第20回音のまちTONEふれあいコンサート」が開催されました。
記念すべき20回目は、ここ数年では最多となる15組の出演となり、今年の出演者を見てみると、小学2年生〜80歳台と幅広い年齢層の方の出場となりました。演奏では、ピアノやヴァイオリン、アルトサクソフスや琴など、さまざまな楽器が織りなす音色に、また、自らの声を用いての声楽・混声合唱など日々の練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい演奏が披露され、約3時間行われたコンサートは終始感動しっぱなしとなりました。
午後1時30分からの開演でしたが、10分くらい前には会場は、観客や出演者の家族などで、満員となりました。演奏を聞いた観客からは、「ヴァイオリンの演奏には驚いた。お金を払ってもいいくらいだったよ。」や「ピアノの演奏には、何か心にくるものを感じた。」などの感想が聞かれました。
町のイベントとしても、有名なこのコンサートも今年で20回となりましたが、これからも音楽を通して、地域住民の輪を広げられるといいですね!



▲素晴らしい演奏をされた細田さん

音楽は好きですね 聞くのも弾くのも
そう語るのは、今年で3回目の出演となった、アルトサクソフスをこよなく愛する細田尚孝さん（80）。80歳とは思えないダイナミックな演奏で観客を沸かせていました。なんとアルトサクソフスを吹き始めたのが71歳の時だそうです。
今回は、そんなパワフルな演奏をする細田さんにアルトサクソフスの魅力について伺いました。
なぜアルトサクソフスを選んだのですか？
今まで、クラリネット、トランペットなどいろいろな楽器を体験しましたが、アルトサクソフスを体験した時に妙にしくりくるものがありました。それで、アルトサクソフスをやってみようと思いました。
良い音を出すのがとても大変だけど、出た時の達成感は今でも感じております。諦めずに続けてればきっと吹けることができると思いますので、頑張ってみてください。
これから始めようとする方に一言お願いします。
週一で音楽教室に通っていました。独学では難しいですからね。後は、ひたすら吹くことでしょうか。
上達のために練習などはしていますか？
苦勞している点は、やっぱりサクソフスらしい音を出すことですかね。約10年やっていると非常に難しいです。面白い点は、演奏できること自体が面白いですよ。それにこの年で独奏をしている人は、そんなにいないだろうし（笑）